【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公表番号】特表2004-503518(P2004-503518A)
【公表日】平成16年2月5日(2004.2.5)
【年通号数】公開・登録公報2004-005
【出願番号】特願2002-510419(P2002-510419)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ　67/24　　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　69/14　　(2006.01)
Ｃ０７Ｂ　61/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ　67/24
Ｃ０７Ｃ　69/14
Ｃ０７Ｂ　61/00　　３００

【手続補正書】
【提出日】平成20年4月2日(2008.4.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　酢酸、無水酢酸およびMTBE（メチルターシャリーブチルエーテル）の混合物を、ゼオライト、ヘテロポリ酸、強酸性イオン交換樹脂およびマクロレティキュラー強酸性イオン交換樹脂からなる群から選択される酸触媒と接触させることによる直接MTBEからのｔ－ブチルアセテートの製造およびメチルアセテートの共製造方法。
【請求項２】　酢酸、無水酢酸およびETBE（エチルターシャリーブチルエーテル）の混合物を、ゼオライト、ヘテロポリ酸、強酸性イオン交換樹脂およびマクロレティキュラー強酸性イオン交換樹脂からなる群から選択される酸触媒と接触させることによる直接ETBEからのｔ－ブチルアセテートの製造およびエチルアセテートの共製造方法。
【請求項３】　MTBEの転換率が約６９％よりも大きい、請求項１に記載の方法。
【請求項４】　MTBEの転換率が約７５％よりも大きい、請求項３に記載の方法。
【請求項５】　ETBEの転換率が約６９％よりも大きい、請求項２に記載の方法。
【請求項６】　ETBEの転換率が約７５％よりも大きい、請求項５に記載の方法。
【請求項７】　t-BuAcへの選択性が約２５％よりも大きい、請求項１に記載の方法。
【請求項８】　t-BuAcへの選択性が約２５％よりも大きい、請求項２に記載の方法。
【請求項９】　反応圧力が約１～５気圧に維持され、かつ反応温度が約１０～１００℃の範囲内にある、請求項１に記載の方法。
【請求項１０】　反応温度が約４０～７０℃の範囲内にある、請求項９に記載の方法。
【請求項１１】　反応圧力が約１～５気圧に維持され、かつ反応温度が約１０～１００℃の範囲内にある、請求項２に記載の方法。
【請求項１２】　反応温度が約４０～７０℃の範囲内にある、請求項１１に記載の方法。